

合格実績

Vol. 2023

先輩たちの声

教えます！函嶺白百合学園について。


Q1 進路について

Q2 勉強・受験のコツやポイント

Q3 函嶺白百合の良いところ

私たちの合格体験記

不安の多い闘病生活を過ごす患者とその家族と共に幸せを見出したい。



上智大学
総合人間科学部
看護学科 合格
2022年度卒業 佐藤 望花

Q1 小学生で入院した時に、隣のベッドに私と同年代の女の子が長期入院をしていました。カーテンが閉め切れ、苦しそうな声と機械音だけが響いていた病室の光景は、鮮明に記憶に残っています。その時から「何か自分に出来ることはなかったのか」と考えてきました。やがて、将来は小児科の看護師として先の見えない不安を抱えた闘病生活を送る幼い患者やその家族に寄り添い、日々の生活の中から小さな幸せを共に見出し、支えていきたいという気持ちが芽生えました。上智大学では「他者のために、他者とともに」の精神のもとで看護を学ぶこと、他学科の授業を選択できることから自身の価値観を広げられると思い志望しました。

Q2 小論文の添削や面接の練習を先生方が親身になって行ってくださいました。その都度やる気の出る言葉を先生方からかけてもらったことでモチベーションを維持することができ、合格へと繋がりました。

Q3 学内外で幅広く活動の機会を得ることができるのが、函嶺白百合学園の魅力の一つです。私は、3年間生徒会に所属し高校2年生の時には生徒会長を務めました。生徒会活動の一環で行っていた「ブルースアースプロジェクト」や「マイアース」では、地球規模の問題を地域の人々や企業の方々と協力し解決へと導き、その啓発活動を行っていました。啓発活動では、環境イベントに「子ども向け環境教室」のブースで出展しました。その時に、ファシリテーターを担当した経験は、私の大きな財産となりました。私は、上智大学を推薦入試で受験をしたのですが、推薦入試では自身の活動が重視される入試形態だったため、私の経験は入試突破の大きな材料となりました。そして、在学中に様々なことに挑戦できたのは、何かあった時に相談できる先生がいて、他愛もない話ができる友人がいたからです。大学合格がわかった時には、自分のことのように喜んでくださる先生・友人がいてくれる、これは当たり前のことのように当たり前ではなかったのだと実感しています。

函嶺白百合学園中学高等学校の詳細な情報や最新ニュースは、下記からご覧ください。

公式ホームページ <http://www.kanrei-shirayuri.ed.jp>

資料請求・イベント申込 TEL:0460-87-6611(代表)

公式 LINE / Instagram 最新の情報をお伝えします

GOOD POINT

学校推薦型 総合選抜型入試 の合格率

87%

函嶺白百合学園では、指定校推薦やカトリック系特別入試制度が数多くあります。それらを利用して90%近くの生徒が、合格を果たしています。

函嶺白百合学園では、少人数制によるきめ細やかな教育はもちろんのこと、SDGs活動やアントレプレナーシップの授業を取り入れることで、自らが考え行動する人材を育成しています。生徒は、高い創造意欲と行動力により進路を切り開いています。

現役合格率 **2年連続**

100%

2022年度卒業生全員が現役で志望する進学先へ進むことができました。

四年制大学現役合格率 **2年連続**

90%

2022年度卒業生の90%が現役で四年制大学へ進学することができました。

難関大学への進学率 **2年連続**

20%

慶應義塾大学・上智大学の難関大学への進学も叶います。

指定校推薦

2022年度指定校推薦校(抜粋)

白百合女子大学 仙台白百合女子大学 上智大学
聖心女子大学 清泉女子大学 麻布大学
神奈川大学 駒澤女子大学 相模女子大学
実践女子大学 昭和薬科大学 女子美術大学
成城大学 洗足学園音楽大学 玉川大学 中央大学
鶴見大学 東京家政大学 東京農業大学
東京福祉大学 東洋英和女学院大学 日本薬科大学
フェリス学院大学 文教大学 目白大学 等多数

2022年度進学率

- 慶應義塾大学 上智大学
- 白百合女子大学 聖心女子大学 津田塾大学 同志社女子大学 日本女子大学
- 四年制私立大学
- 医療系私立大学
- 芸術系私立大学
- 短期大学

函嶺白百合学園で過ごした3年間で、 自分の“やりたいこと”や夢・目標を見つけることができました。

先輩
たちの
声

教えます！函嶺白百合学園について。

Q1
進路に
ついて

Q2
勉強・受験
のコツや
ポイント

Q3
函嶺白百
合の
良いところ

経済ジャーナリストを 目指して！



上智大学
文学部 新聞学科
合格
2022年度卒業 小林 葵香

Q1 人々の無意識な範囲まで及ぶメディアの影響力の大きさを正しい方向性で使える人物・ジャーナリストになりたいと、新聞学科と経済学科を志望。上智大学では、どちらの学科生になっても、新聞学と経済学の授業を双方とも受けることができるため自分に向いていると考え、志望しました。

Q2 学校の勉強は、曜日と時間別に細かく計画を立てて行っていました。計画を立てないと後回しになってしまうタイプなので、計画通りに行くことを習慣づけていたことが、安定的に成績を取るためには大切だったと思います。入試には、モチベーションの維持が一番大切でした。私は、何もしなくても勉強ができるタイプではなかったので、常にこれをやらなくては「上智大学には行けない！」と考えながら頑張りました。

Q3 縦のつながりが強い学校です。先輩後輩の仲が良く、先輩方に色々な相談に乗ってもらいました。上智大学新聞学科の先輩が、休日に面接の練習をしてくれ、試験に関するアドバイスもたくさんいただきました。

人に寄り添える 看護師になる

上智大学
総合人間科学部
看護学科 合格
2022年度卒業 来城 実咲



Q1 小学生の頃から人を助ける仕事がしたいと思っていました。それが「人に寄り添える看護師になる」という強い思いに変わったのは、高校2年生の時に2ヶ月にわたる入院をした経験がきっかけです。コロナ禍での入院では、温かい言葉をかけ、寄り添い、何より誇りを持って働く看護師の姿が私の病気と戦う原動力になりました。小学校4年間をインドネシアという異国の地で過ごしたことや、中高6年間をカトリック校で学んだという経験を全て生かして学べる環境を求め、それが上智大学にあると思い志望しました。

Q2 入試は、レポート提出と小論文試験・面接でした。先生の勧めで論文のコンクールに挑戦することで、小論文を書くことに自信を持つことができました。

Q3 バレーボール部での6年間の活動、マリア寮での寮生活、全てにおいて仲間と過ごした日々は「青春」です。

ものづくり起業 による医療支援を 目指す！

慶應義塾大学
環境情報学部
環境情報学科 合格
2022年度卒業 杉本 碧



Q1 「アントレプレナーシップ」プログラムの授業から影響を受け、スタンフォード大学主催の英語プログラムに参加したことがきっかけとなり、医療を支える「ものづくり」をビジネスモデルとして起業したいという夢を持ちました。そこで、文理融合である慶應義塾大学の環境情報学部を目指しました。

Q2 AO入試で一番倍率が高く、特殊な受験方法だったため、不安でいっぱいでしたが、担任の先生の親身なサポートにより前向きな気持ちを維持し、受験を乗り越えることができました。

Q3 少人数制でアットホームな環境と課外プログラムやボランティア活動に積極的に参加できることです。スタンフォード大学主催の英語プログラムに参加する際には、ネイティブの先生が毎日レポートの添削をし、英会話にも付き合ってくださいました。このプログラムは倍率も高く難しいものでしたが、諦めかけた時には、努力を認め励ましてくれる先生がいてくださり感謝しています。

小学校からの夢 助産師を目指して！

順天堂大学
医療看護学部
2022年度卒業 池島 志恵奈



Q1 はじめは国公立を目指していましたが、助産師を志すようになり、大学の4年間で資格取得に向けて勉強できる大学へ進学したいと思い、高校3年生の夏前に進路を変え順天堂大学を第一志望として目指しました。

Q2 看護系の入試では、ほとんどの大学で小論文が課されているため、高校2年生の2月から対策を進めました。先生に採点をお願いしたり、大学の問題を解き、最終的には50校近くの大学の問題を解いていました。コロナ下で制限はありましたが、大学や看護体験などのイベントにも積極的に参加することでモチベーションを保ちました。

Q3 部活や生徒会、補習の受講など毎日が忙しいけれど、どれも有意義な時間となります。親身にサポートしてくれる先生や、励まし合える仲間と恵まれた学園生活が過ごせました。

実家で経営する 保育園を継ぎたい。



上智大学
総合人間科学部
心理学科 合格
2022年度卒業 安藤 乃々

Q1 保育園で預かる乳幼児は発達も特性も様々です。一人一人に寄り添った丁寧な保育を展開するために、臨床心理士の資格と知識があると良いと先輩保育士からのアドバイスを受け、心理学部を目指しました。

Q2 バスケットボール部に所属し、勉強ができる時間が限られていたことが逆に集中力やモチベーションの維持に繋がりました。ほとんど毎日ある小テストでは、確実に満点が取れるように勉強をしました。そこで、毎日コツコツと勉強する習慣を身に付けられたと思います。

Q3 友達や先生などの大切な仲間に出会えます。先生は、時間をかけて丁寧に面接の練習、小論文の添削してくれました。先輩からは受験のアドバイスを、同級生・後輩からは励ましをもらい、みんなの応援を力に変えて受験に挑むことができました。

世界の難民問題に ついて学びたい

上智大学
総合グローバル学部
総合グローバル学科 合格
2022年度卒業 瀧本 奈瑠



Q1 生徒会でのSDGs活動を通して、難民問題の現状に衝撃を受けました。そして、世界中で激化している戦争や紛争のユースからも、人の命や人権、そして難民を取り巻く世界全体に関わる難民問題について学びたいと思い、上智大学の総合グローバル学部が私の理想に最も近く、グローバルな雰囲気がまたない環境だと考え志望しました。

Q2 通学時間に小テストの勉強をしました。電車、家、学校と繰り返し勉強することで定着度が増します。試験期間は、友人と一緒に勉強することで、やる気を起こしていました。

Q3 ネイティブの先生による放課後・長期休みの検定補習のお陰で英検のスコアを伸ばすことができました。日々、励まし合い、助け合える友人ができます。友人の存在はとても大きく、友人の頑張る姿が私のモチベーションになりました。